

(4) 学生生活

1. 学部指導懇談会・学科別懇談会について

入学式後の履修登録ガイダンス等の行事が学科別に分散して対面で行われることになったため、理学部学部指導懇談会についても、各学科担当者の協力のもとに理学部新入生を学科別に4教室に分けたうえで、事前に編集した動画（約1時間程度）を視聴させた。新入生には視聴後にwebでアンケート調査を実施した。回答数は234名中226名。設問「これから課外活動でやってみたいこと」では、多くの学生がサークル活動やボランティア等への課外活動に関心を示し、設問「学生生活の中で、気をつけたいと思うこと」では学習と課外活動の両立、詐欺や自己管理に関する意見が多かった。以上から、学部指導懇談会が学生生活を始めるにあたって非常に効果的であることが明らかとなった。

同日の学科別懇談会も同じ教室を使って対面で行うことができた。前年度は実施できず、学生同士や教員とのコミュニケーションを取る機会が得られなかったが、対面で実施できたことは良かった。実施内容は各学科で対応するよう、学科主任に依頼した。

2. 感染症学習について

COVID-19について、また感染予防についての科学的な知識を身につけることを目的に、理学部独自にいくつかの動画コンテンツを用意し、それらを学生一人一人が視聴したうえで学習報告をwebアンケートの形で行うよう指示した。在学生については前年度末の3月22日にメールおよびお知らせで一斉通知し、新入生には入学式後のガイダンスで各自学習するよう案内した。学習報告では、新入生は7割強、在学生は5割強が行っている。以上は教務委員が主導し、学生部委員が学習報告の回収、集計を行った。前期終了時の7月29日に、学部長から理学部学生に向け夏期休暇中の過ごし方についてのメッセージを送った。また9月6日に後期授業再開に向けて、再度感染症学習を行うよう、理学部学生に通知した。ただし、これについての学習報告は230名弱にとどまった。

3. 学生実験、研究室学生の感染症対策について

学生実験も教室内の人数制限（対人距離の制限）を行った上で実施した。その際、学生には事前の体温測定、教室入退室時の手指消毒、不織布マスクの着用を徹底した。

研究室学生の感染症対策については、2.の感染症学習を学生および教員全員が済ませた上で、感染予防対策を研究室毎に実施、実施方法および実施状況を報告することで、入構制限は行わないことにした。実施状況報告は4月、6月、9月に提出するよう教務連絡係を通じて各研究室に通知した。以上は教務委員主導で行われた。

4. 理学部学生サポートサイトについて

前年度に開設した理学部学生サポートサイトについて、利用する学生が一定数いることが分かったため、継続して開設することにした。これにより、自宅からメールで相談事項を担当者（教員）に送信、学生部委員、教務委員、学部長で対応することにより、個別にあるいは理学部学生全体に必要な対応を取ることができる。出てきた質問と回答については Q&A の形で理学部 HP 上に整理して公開した。サポートサイトの開設作業、学生からの質問の受理と HP 情報の整理については理学部 HP 係が行った。